

Printing Using Multiple Interfaces マニュアル

Printing Using Multiple Interfaces 複数インターフェイスによる印刷方法

Version 1.14.6 Dec. 2017

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは、固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容につきましては、万全を期して作成いたしましたが、万一誤り、記載もれなど、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- (5) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 2016-2017 Seiko Epson Corporation

目次

第1章 はじめに	1
1.1 特徴	1
第2章 注意事項	2
2.1 PRINTING USING MULTIPLE INTERFACESでの注意事項	2
第3章 利用方法	3
3.1 デバイスの登録	3
3.2 プログラミング方法	4
3.2.1 印刷プログラミング	4
3.2.2 マーキーのプログラム	5
第4章 エラーコード	6

第1章 はじめに

本マニュアルは、**Printing Using Multiple Interfaces**(複数インターフェイスによる印刷)を行うためのアプリケーション開発ガイドです。プログラミングを開始する前にお読みいただき、開発にお役立てください。

1.1 特徴

1つのプリンターに搭載されているインターフェイスの中から2つのインターフェイスを選び、別々のアプリケーションから印刷することが出来ます。

本マニュアルでは、それぞれのアプリケーションを主系アプリケーション、副系アプリケーションと称します。

- ・主系アプリケーションは、既存のアプリケーションを想定しています。
- ・副系アプリケーションは、新規のアプリケーションを想定しています。既存アプリケーションに追加されるアプリケーションの事を指します。

例えば、キッチンプリンターやタブレット端末からの印刷です。

断りがない限り、本マニュアルは副系アプリケーションの開発方法について記載します。

第2章 注意事項

2.1 Printing Using Multiple Interfaces での注意事項

- **Claim** メソッドによる排他アクセス権は印刷毎に取得及び解放してください。排他アクセス権を取得している間は、主系アプリケーションからの印刷は行えません。
- 長いレシートを印刷しないでください。一回の印刷は 1 秒以内が目安です。1 秒以上の印刷を行った場合、主系アプリケーションの印刷でエラーになる場合があります。
- エラーが発生した場合は、速やかに排他アクセス権を開放してください。
- プリンターのみのサポートです。
- **SetBitmap** メソッドは、非サポートです。
- **Claim** メソッドでデバイスの初期化を行います。デバイスがエラーの場合、**Claim** メソッドでエラーが返ります。
- 主系アプリケーションでは UPOS の **LineDisplay** にある **Marque** 機能を使用しないでください。
主系アプリケーションで **LineDisplay** の **Marque** 機能実行中は副系アプリケーションからの印刷が行えません。
Marque 機能を実現するためには **LineDisplay** の **DirectIO** メソッドを使用してください。
使用方法は、"3.2.2 マーキーのプログラム"を参照してください。
- 副系アプリケーションで印刷中、**LineDisplay** の表示ができないので、印刷終了を待ってから表示させてください。

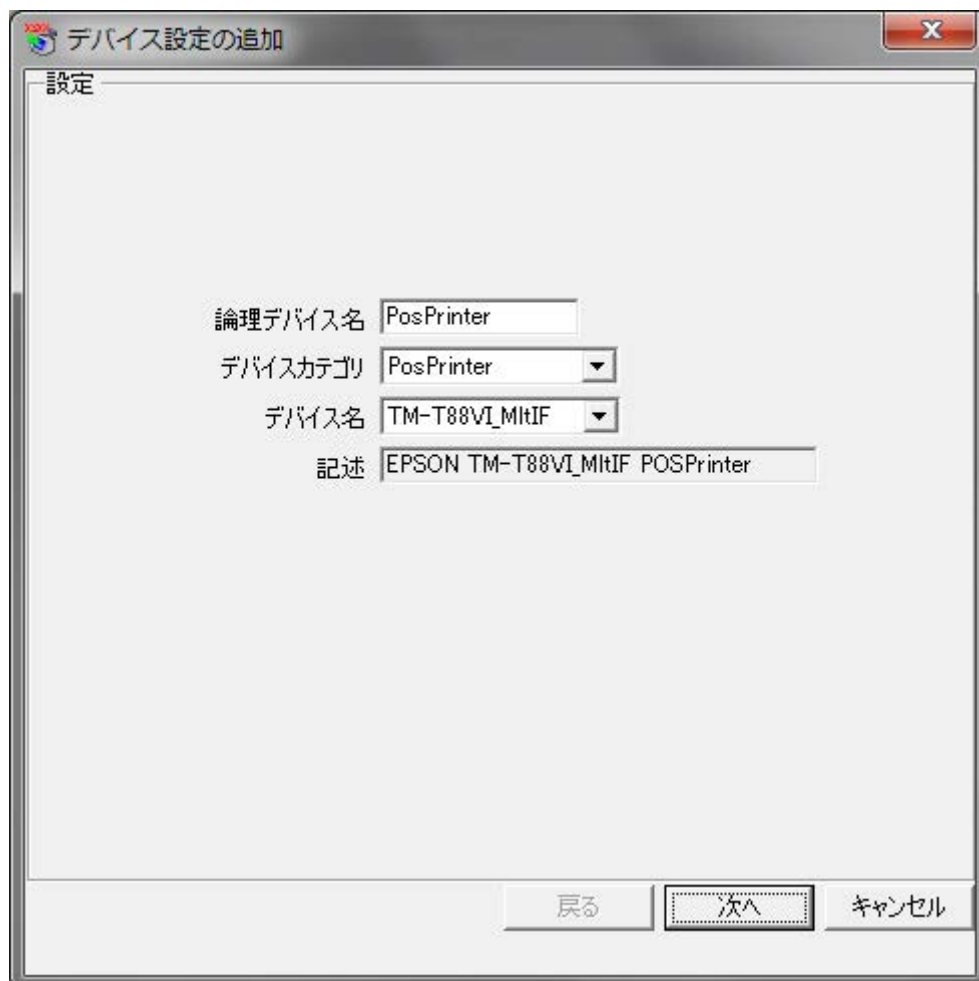
第3章 利用方法

デバイスの登録方法、およびプログラミング方法について説明します。

3.1 デバイスの登録

SetupPOS ユーティリティでデバイスを登録する場合、デバイス名の末尾が“_MltiIF”のデバイスを選択してください。

■ 副系アプリケーション用の登録



3.2 プログラミング方法

3.2.1 印刷プログラミング

副系アプリケーションを作成する場合の処理は、以下の通り。

- ・ドライバの初期化処理:open 処理を実行する
- ・印字処理:排他アクセス権の取得・解放と印字を実行する
- ・ドライバの終了処理:close 処理を実行する

以下に、サンプルコードを記載します。

```
DeviceInfo deviceInfo = posExplorer.GetDevice(DeviceType.PosPrinter,strLogicalName);
```

```
PosPrinter ptr = (PosPrinter)posExplorer.CreateInstance(deviceInfo);
```

```
void open(String LogicalDeviceName){
    try{
        ptr.Open();
    }
    catch(PosControlException){}
}

void print(){
    try{
        ptr.Claim(1000);
        ptr.DeviceEnabled = true;
        ptr.PrintNormal(PrinterStation.Receipt, "PrintData" + "¥n");
    }
    catch(PosControlException){}
    finally{
        try {
            ptr.DeviceEnabled = false;
            ptr.Release();
        }
        catch (PosControlException) {}
    }
}

void close(){
    try{
        ptr.Close();
    }
    catch(PosControlException){}
}
```

3.2.2 マーキーのプログラム

主系アプリケーションで **LineDisplay** のマーキーを実現したい場合は、以下のサンプルコードを使って実現してください。

【マーキー開始】

```
deviceInfo = posExplorer.GetDevice(DeviceType.LineDisplay, strLogicalName);
LineDisplay disp = (LineDisplay)posExplorer.CreateInstance(deviceInfo);
int pram2 = 0;
byte[] pram3 = {
    0x1B, 0x3D, 0x02, //ESC = (specifies command sent to LineDisplay)
    0x1F, 0x03, // US MD3 (specifies horizontal scroll)
    0x1F, 0x3A, // US: (Starts macro definition)
    0x0C, // CLR (Clears display screen)
    0x1F, 0x0D, // US CR (Moves display position to right edge of current row)
    0x30, 0x31, 0x32, 0x33, 0x34, 0x35, 0x36, 0x37, 0x38, 0x39, //display
    data
    0x1F, 0x3A, // US: (macro definition end)
    0x1F, 0x5E, 0x50, 0x20 // US^ n m (run macro)
    // n sets the character display interval during macro process run to
    n x 20 msec
    // m sets the idle time interval during macro process repeat to m x 50 msec
};
disp.DirectIO(EpsonLineDisplayConst.DISP_DI_OUTPUT, pram2, pram3);
```

【マーキー停止】

マーキー停止の対応は不要です。マーキー中に **LineDisplay** の処理を行うことでマーキーが停止します。

第4章 エラーコード

以下のメソッドでエラーコードが変更されています。

メソッド名	ResultCode	ErrorCodeExtended	意味
Claim	E_ILLEGAL	EX_FAIL_MULTI_INTERFAC E_PRINTING	印刷中またはプリンタ エラー状態。
		EX_INVALID_VALUE	パラメータで UPOS が 定義していない値が設 定されました
		EX_BADPORT	接続されているデバイ スが不正です
		0	ネットワークに接続で きません
	E_CLOSED	0	Service がオープンされ ていません
	E_TIMEOUT	0	時間内に排他アクセス 権を取得できませんでした
	E_OFFLINE	0	電源リカバリの処理中 です
		EX_BADPORT	通信ポートが他で使用 されています
SetBitmap	E_ILLEGAL	EX_NOTSUPPORTED	サポートしていません。